

様式第3号（第7条関係）

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

水戸市赤塚市民センター運営審議会

2 開催日時

令和6年2月27日（火）午後1時30分から
午後3時00分まで

3 開催場所

水戸市赤塚市民センター 集会室

4 出席した者の氏名

- (1) 委 員 高橋 みさ子, 長谷川 恒, 丸山 友一, 薮 秀子, 朝日 広一
(2) 執行機関 菊池 潤, 伊東 洋子

5 議題及び公開・非公開の別

- (1) 令和5年度赤塚市民センター利用状況について (公開)
(2) 令和5年度赤塚市民センター事業実施状況について (公開)
(3) 令和6年度赤塚市民センター定期講座募集（案）について (公開)
(4) その他 (公開)

6 非公開の理由

7 傍聴人の数

0人

8 会議資料の名称

令和5年第2回水戸市赤塚市民センター運営審議会

9 発言の内容

議 長 まず、議事に入る前に、今回の運営審議会の議事録署名人につきまして
は、 委員と 委員をお願いいたします。

 それでは、議事に入ります。議題(1)令和5年度赤塚市民センター利用状況について、説明をお願いします。

執行機関 (議題 (1) 令和5年度赤塚市民センター利用状況について説明)

議 長 ただいま説明のありましたことについて、御質問、御意見等ありますか。
なければ、続きまして議題 (2) 令和5年度赤塚市民センター事業実施
状況について、説明をお願いします。

執行機関 (議題 (2) 令和5年度赤塚市民センター事業実施状況について説明)

議 長 ただいま説明のありましたことについて、御質問、御意見等ありますか。

委 員 表2地区会との共催事業の表中にある、ふるさと赤塚まつりの人数は議
題(1)で説明のあった市民センターの利用人数に含まれていますか。

執行機関 11月4日(土)開催の芸能発表会はホールのみ利用なので議題(1)の利
用人数に含んでいますが、11月11日(土)、12日(日)の2日間は建物内外
での利用なので議題(1)の利用人数に含んでおりません。議題(1)の各表は、
全ての市民センターが毎月、市民生活課に報告している利用状況報告を元
に作成しています。この利用状況報告には、建物外での共催事業の利用を
計上する「センター外共催事業等」という項目があり、ここにこの2日間
の利用は計上しております。議題(1)の各表はこの「センター外共催事業」
の数値を拾っていないため、11月11日(土)、12日(日)の人数は含まれて
おりません。

委 員 地域の多くの方に来てもらっているのに議題(1)の利用人数に反映して
ないのはもったいないと感じます。

議 長 他に御質問、御意見等ありませんか。
なければ、続きまして議題 (3) 令和6年度赤塚市民センター定期講座募
集 (案) について、説明をお願いします。

執行機関 (議題 (3) 令和6年度赤塚市民センター定期講座募集(案)について説明)

議長 ただいま説明のありましたことについて、御質問、御意見等ありますか。

委員 募集人員が1, 2名のクラブがありますが、1, 2名で加入することには抵抗があると思います。15名定員で募集3名のクラブはすでに12名の受講生がいるのですが、募集人員の表記は15名とした方が新しい人が入り易いのではないのでしょうか。

執行機関 クラブの受講生には年度後半に次年度の継続意向確認を行っており、継続意向であれば継続人員とし、定員に満たない人数を募集人員としています。

委員 今の___委員の提案だと、15名定員で12名の継続人員がいるクラブが15名募集と表記しても、実際は3名しか入れません。そうであれば最初から3名募集と書いて欲しいと感じると思います。ただ、やはり余裕があるのであれば1, 2名の募集は少ないので少し増やせないのでしょうか。

執行機関 募集人員1, 2名のクラブがピタリその人数しか受入れられないわけではないと思います。ここに記載した定員、募集人員は必ずしも白黒はっきりした絶対的な数字ではありませんので、1人募集のところ2人組の申込みがあった時、受入れ可能な場合もあると思います。

委員 毎年、各クラブの申込人数は定員をオーバーしますか。

執行機関 定員をオーバーする申込みがあるクラブは多くありません。

委員 各クラブでの受講生の継続率は高いですね。

執行機関 高いです。

委員 着付けBの募集人員1名というのは入りづらい。2, 3名にできないのでしょうか。クラブ側に聞いて、増やせるのであれば増やすべきだと思います。

執行機関 すでに許容できる定員上限に近い状態ですが、一方で定期講座は毎年度新規の受講生を募集することを心掛ける必要があるため、1名でも募集をかけるようにしています。2, 3名の募集とすることはクラブ側に確認の上、対

応じます。

委員 受講生の継続率が高いことはよいことですが、新しい人が入る余地も作っておいて欲しいです。固定化してはよくありません。

また、クラブの方に話しを聞いたところ、違う曜日に他の市民センターも利用している方も多いようです。市民センターでは受講生の募集を居住地区で限定することはしないですね。

執行機関 現在、当市民センターではそのようには募集していません。

委員 募集人員が少ないクラブもあり、地元の人になるべく優先して入れるようにすることはできないのでしょうか。私たちが地域コミュニティ活動などする上でも、地域の方が市民センターに来ていることは何かと助かることがあります。

委員 受講生の継続率がよいのはいいことですが、毎年受講生の募集をしなければならぬ意味とはどういうことでしょうか。

執行機関 多くの方に受講の機会を持って頂くためです。継続する方が多いのはよいことですが、一方で受講生の固定化は避けるべきと考えています。

委員 1人、2人でクラブに入った場合、すでにできている輪の中に入っていくことが難しいと感じたことがあります。新しい受講生を継続的にとっていき考えがあるのであれば、その間口を余裕をもってとって欲しいと思います。

委員 興味がある講座があっても、グループができあがっているとなかなか1人では入っていきません。

委員 継続して活動することはよいことですが、その継続のあり方は少し考えて頂きたいと思います。

委員 いきいき交流センターあかしあが開所しましたが、市民センターの定期講座と内容が競合するような教室は、あかしあでは実施しないのでしょうか。

執行機関 あかしあが教室を開設するにあたり、特に調整などしておりません。

委員 まだあかしあが開所して間もないですが、今後、教室や講座の内容について

て両者間で何かしら問題は生じないでしょうか。

執行機関 特に問題が生じるとは考えておりません。地区の方々にとって講座，教室の選択肢が増えたと考えてよいと思います。

議長 他に御質問，御意見等ありませんか。なければ，続きまして，議題（4）その他ございますか。

委員 これまでも小学校の事業では，防犯協会など地域の各団体の方々にブースを出してもらい御協力を頂いているところですが，来年度は定期講座など市民センターで学習をしている方々にも来てもらい，教えてもらうようなことができないかと考えています。例えば手元の資料の定期講座の一覧でいうとフランダンスやいくつかのクラブの方々に来てもらい，短時間ずつですが一緒に踊ってみるなど児童に教えてもらうのです。子どもたちは楽しいでしょうし，保護者にも市民センターではこういう活動をしていると知って頂くきっかけになると思います。

執行機関 小学校からの依頼に基づき，市民センターがクラブ側と調整することで可能だと思います。よいことだと思います。

委員 小学校と市民センターが近い関係にあることは地域コミュニティ活動にとってもよいことだと思います。先日，市民センターを会場として開催した赤塚地区防災研修・体験会では地域の回覧のほか，小学校でのチラシの配布もお願いしましたが，なかなか参加者は集まらず少し市民センターでの事業と小学校の関係が遠いのかなと感じました。

その防災研修・体験会は，開催日が連休中だったこともあり参加者が少なかったですが，以前の小学校を会場とした防災訓練とは異なる新しいかたちを模索できたと感じています。市民センターは地域の方々にとって身近に関われる場所なので，小学校のように会場を大きくとることはできなくても回数を増やすなど工夫することで参加者を増やしていくことは可能かなと思いました。会場を大きくできず小規模で実施することで，係として携わる方々も準備や段取りだけでなく，一般の参加者と同じように参加できたこともよかったです。ここに若い方が加わって，私たち先輩がどう動いているかを見て，自分達にできることは何だろうと考えるきっかけになったらいいなと思いました。今回の防災研修・体験会を開催するにあたり，細かいところまで打合せはできませんでしたが，協力をお願いした皆さんがそれぞれに考えた行動をしてくれました。課題ができればそこからまた新しい方法を見つ

けられます。今回の防災研修・体験会は収穫が多くありましたし、このような活動はやり続けることが大切だと感じました。

委員 今話のあった防災研修・体験会について、地域での回覧だけでなく小学校でのチラシの配布をお願いしていたとのことですが、小学生の参加はありませんでした。地域でも回覧は回りましたが、参加者が少なくもっと多くの方に参加して頂けるとよかったなと思います。ただ、閉会時のあいさつの中で、「これまでの規模の大きい防災訓練では体育館の中で係員になると外で何をしているのか全然見ることもできませんでした。しかし、今回は市民センターで小規模に開催することで係員も一緒に簡易間仕切りを組立ててみたり、けむり体験を試してみたりすることができたことは大変有意義だった。」との話がありました。

1月に小学校が河和田北防犯協会、赤塚女性会の協力のもとで実施した昔遊び体験については、子どもたちがとても喜んでくれて、私達も当日までの準備も含めて楽しくすることができました。また機会があれば是非と思います。

委員 地域の方々が気軽に小学校へ来て頂きたいと考えております。ただ単にどうぞ、というのではなく、行事を設定して、子どもたちと交流したくさんのことを教えて頂きたいと思います。地域と一緒に、力をお借りしながら市民センターにはその間に入って頂きながら進んでいけたらと思います。

委員 _____委員の意欲はすごく伝わりますが、小学生の保護者と地域コミュニティ活動を担う側の連携がなかなか進んでいません。能登で起きたような災害が発生した場合のことを考えると、若い世代の保護者の皆さんにもっと真剣に考えて欲しいと感じています。先程、話しの出た防災研修・体験会でもチラシの配布はしたものの若い世代の参加はありませんでした。私たちは応急給水用給水タンクの組立て訓練をしましたが、いざ災害が発生した時に70、80歳台の者ばかりであれだけ大きいものを組立てできるでしょうか。若い世代も一緒にあのような訓練をしてもらい、行動を起こせるようにしてもらいたいです。

委員 防災研修・体験会の参加者数について、人数の上限を決めて申込制にせざるを得ませんでした。申込制にするとどうしても積極的に申込みしてまで行こうとなかなかならないようです。これは課題だと思っています。配布したチラシは皆さん見て下さっているでしょうから、そこからプラス一歩を踏み出してもらうために何が必要か考えたいと思っています。また、申込制でな

くても受入れができる体制も模索していきたいと思います。一方で、参加人数は少なかったと思いますが、各ブースでの所要時間など振り返ると妥当だったのかもしれませんが。参加人数も大事ですが、内容を充実させることも重要視して、興味を持って参加してくれた方が興味のない人に伝えることができる人になり、それがつながって変わっていくとよいなと思います。

委員 災害はいつ起きるかわかりません。今の状況に危機感を持つ必要があります。防災研修・体験会のような事業は参加人数は何人だったからよいということではありません。参加者の年齢層は相当高かったです。地域の若い方々を巻き込んでいかないと中身が伴っているとは言えません。実際の災害が起きた時に高齢者だけでは対応できません。

委員 若い世代を巻き込んでいくためには、子どもが参加したくなるような何かを組込むのがよいと思います。子どもが来れば、一緒に保護者も来てくれます。そこで大切なことに気づいてもらえるようにするのがよいと思います。

委員 今回の防災研修・体験会については、高齢者が多かったですが、経験豊富な方々の力もいざという時には必要ですので、その点では充実していたと考えることとしたいです。今、話しのあったような子ども向けの内容については、私達にはどのようなものがよいか慣れてない部分なので、今後、地域と小学校が協力し、気軽に相談し合える関係性を築きながら進めていければと思います。

議長 他に御意見、御質問ありませんか。なければ議事を終了いたします。進行を事務局にお返しします。

執行機関 御審議ありがとうございました。以上で令和5年度第2回赤塚市民センター運営審議会を終了いたします。